

大学生の環境活動



大学生SDGs座談会 2021年7月、全国の6団体の大学生がオンラインで意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、講義やゼミがオンライン主体となるなど大学生の学生生活にも大きな影響があります。一方で、この期間に大学生の間では新しい価値観が生まれ、持続可能な社会の実現に向けた活動や取組を検討・実施しています。今回の座談会では、新型コロナウイルス感染症への対応によって生まれた、「新たな日常・新たな価値観、持続可能な社会づくり」をテーマに活発な意見交換が行われました。

主催) 独立行政法人環境再生保全機構

共催) 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会



〈座談会レポート〉2つのグループに分かれ意見交換を行い、各議題での意見共有をしました。

(1) 新たな日常・新たな価値観

グループ A)

学生もオンラインイベントに慣れてきた。オンラインによって全国の人と関われるようになったことはとても良いことである。一方で、オンラインでの会話に飽きてきたという話があった。対面での活動に向けた、活動環境を今から作っておくことも大切だという話もあった。

グループ B)

オンラインでどのように活動を展開できるか議論を行った。コロナが落ち着いた先を見越して、団体としての活動を考える期間にもなっているとの意見もあった。現状としては、どの団体もコロナ禍で、またコロナ禍後にどのように活動していくのか模索している状況であると意見交換をして分かった。

(2) 持続可能な社会づくり

グループ A)

買い物の際にレジ袋を利用しているかどうかの話になった。レジ袋は使わずに、直接リュックやバックに入れるという人が多かった。座談会に参加した学生の多くは、団体だけでなく、個人レベルでも意識をもって普段から生活していた。環境活動に関心がない方にどう意識をもってもらうかが課題である。

グループ B)

持続可能な社会づくりで何ができるか、個人の意識の話、団体・社会全体での活動の話をしたが、どちらも大事だと思う。個人レベルで意識するためには広報が重要で、環境団体の堅苦しいイメージをアプリ等を活用しポップに発信していくのはいかがでしょうかと意見があった。

〈大学生SDGsメッセージ〉意見交換をふまえてSDGsに対する意気込みを団体ごとに議論・作成し共有しました。

